

## ◆文部科学大臣賞◆

〈社会教育部門〉

## 「生涯学習サイト『トリピー放送局』の取り組み」

鳥取県立生涯学習センター

〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町21

## ■実践事例報告の概要

「トリピー放送局」は、インターネットで生涯学習できるサイトである。このサイトでは、とっとり県民カレッジ主催講座「未来をひらく鳥取学」を中心とした講座を、動画でまるまる配信している。そのため、在宅での聴講が可能となり、体が不自由で聞きに行けない、もう一度聞きたい、聞き損なってしまったという住民ニーズにしっかりと応え、「いつでも、どこでも、だれでも」生涯学習することができるサイトである。

## 実践のねらい

県民の学習要求に応えるために、体系的・総合的な学習機会を提供することを目的として、とっとり県民カレッジを開催し、現在の入学者は5,000人を越える。主催講座である「未来をひらく鳥取学」の受講者は900人を越えているが、会場の人数制限があったり、都合が悪かったり、高齢のため体が不自由になって、直接会場で話を聞くことができなかつた人、聴いたけどもう一度聴きたいという人に対して、講演をビデオ収録して貸し出しているものの、十分に対応できていない状況である。また、仕事の関係や家庭の環境、体が不自由

などの理由でカレッジに入学できないが、講演を聴いてみたいという生涯学習への要求を持っている人も多い。

そこで、家庭で自分の都合に合わせて学習することができるように、学習情報提供と学習相談で住民の学習を支援してきている情報提供システム「県民学習ネット」を活用し、録画した講座を学習コンテンツとしてインターネットで動画配信することとした。

サイト名「トリピー放送局」は、県民学習ネットのトップページでも羽ばたいている鳥取県のPRキャラクター「トリピー」の名前からとったもので、平成15年7月30日に開局した。

## 「トリピー放送局」トップページ

「未来をひらく鳥取学」などの講座を、このトリピー放送局で視聴することができます。インターネットで生涯学習しましょう!!

2004年3月8日 更新

速報! 第4回(わか)活用教育コンファで「トリピー放送局」が文部科学大臣賞に入賞しました。

鳥取県立生涯学習センター

お手紙ください

未来をひらく鳥取学 歴史・文化	未来をひらく鳥取学 産業	未来をひらく鳥取学 教育・福祉
未来をひらく鳥取学 国際化	未来をひらく鳥取学 自然・環境	未来をひらく鳥取学 人権
未来をひらく鳥取学 健康・生活	生涯学習講座 とっりの方言など	県立生涯学習センター 制作ビデオ

## 特徴・工夫・努力した点

「トリピー放送局」の特徴としては、なんといっても1時間から2時間近くの講演会をまるまる放映していることである。エル・ネットやケーブルテレビ等においては、学習講座が放映されているが、こうした取り組みは、サイト上ではあまりない。

また、開局に当たっての課題として、主に次の5点があった。

- ①住民要求にあったコンテンツをどうするか
- ②インターネットで講演を放映することへの許諾について
- ③サイト運用のシステムの問題
- ④住民への広報の問題
- ⑤サイトに対する評価の問題

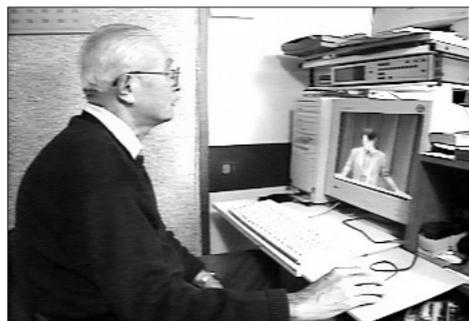
こうした課題を、十分とは言えないが、クリアしながら現在も進めている段階である。

## 実践内容

学習コンテンツとして、県民カレッジの主催講座「未来をひらく鳥取学」の講演を「歴史・文化」「産業」「教育・福祉」「国際化」「自然・環境」「人権」「健康・生活」の7分野、その他の生涯学習講座、当センター制作のビデオと、9つのコンテンツで配信している。歴史・文化の分野の中には、県民カレッジ学長でもある片山知事の「文化や歴史を活かした県づくり」の講演などがある。「未来をひらく鳥取学」は鳥取ルネッサンス運動の一環としての講座で、講師の多くが鳥取県内の方であり、講演された多くの方からインターネット放映についての許可をいただくことができ、本年度は38本のアップロードを予定している。

住民の方々に、パソコン環境が違っても閲覧できるように、無料でダウンロードできるReal One Player対応で配信している。

運用面としては、サーバー等では、知事部局の企画部情報政策課の協力を得て、県のサーバー機を使って配信している。当センターでは、オーサリング作業とトップページの作成を行う。オーサリングでは、住民のインターネット接続環境を考



いつでも、どこでも、だれでも、生涯学習できる

慮して、28k、56k、128k、256kバイトの4段階に対応できるように変換している。また、トップページは、ホームページビルダーによる職員の手作りであり、はっと目を引く画面ではないが、簡単に変更できる良さをもっている。

現在、地元の新聞や生涯学習の広報誌等で広報している。また、住民の利用を促進するため、インターネット講座の中で実際に活用する内容を盛り込むようにしている。

## 実践結果

「本当に『いつでも、どこでも、だれでも』学習できる環境になってきたな」という声を受講生の方から言っていたが、家から出かなくても、聴きたい講演が聴けるという良さを実感してもらえるものとなった。ただ、まだパソコンに不慣れで、Real One Playerのダウンロードができなくて見ることができないという意見もあり、課題である。

## 考察（今後の課題）

高度情報化の中、生涯学習における「トリピー放送局」の今後の有効性は極めて大きい。さらに講演等の数を充実させながら、その他のコンテンツとして、地域の学習教材（史跡、伝統工芸・芸能、昔話など）も開発して取り入れたい。鳥取の過去、現在、そして未来を考え、豊かな暮らしを築く鳥取県民の一助となるサイトでありたいと考えている。そのためには、まずこのサイトを知ってもらい、活用してもらうことが必要である。